

4 「平成元年度生まれの者」と「昭和34年度生まれの者」 の年間発育量の比較

平成19年度調査で17歳の「平成元年度生まれの者」と、30年前の昭和52年度調査で17歳の「昭和34年度生まれの者」（親の世代）の6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量について比較すると、表5と図6～9のとおりになります。

（1）身長

身長の年間発育量について「平成元年度生まれの者」と「昭和34年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成元年度生まれの者」が11歳～12歳と12歳～13歳（年間発育量7.6cm）、「昭和34年度生まれの者」は10歳～11歳（同7.7cm）になっています。女子では、「平成元年度生まれの者」が10歳～11歳（同7.0cm）、「昭和34年度生まれの者」は10歳～11歳（同6.8cm）になっています。

また、身長の発育量を小学校の時期（6歳から12歳までの時期）と中学校・高等学校の時期（12歳から17歳までの時期）とに分けてみると、男子では、小学校の時期は「平成元年度生まれの者」が35.7cm、「昭和34年度生まれの者」は34.0cmで、「平成元年度生まれの者」の方が大きくなっていますが、中学校・高等学校の時期は「平成元年度生まれの者」が18.9cm、「昭和34年度生まれの者」は21.7cmで、逆に「昭和34年度生まれの者」の方が大きくなっています。女子でも、小学校の時期は「平成元年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は「昭和34年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「平成元年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和34年度生まれの者」よりも男子は1.1cm、女子は1.2cmそれぞれ小さくなっています。

（2）体重

体重の年間発育量について「平成元年度生まれの者」と「昭和34年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成元年度生まれの者」が12歳～13歳と14歳～15歳（年間発育量6.0kg）、「昭和34年度生まれの者」は13歳～14歳（同5.8kg）になっています。女子では、「平成元年度生まれの者」が10歳～11歳（同5.3kg）、「昭和34年度生まれの者」は11歳～12歳（同6.2kg）になっています。

また、体重の発育量を小学校の時期と中学校・高等学校の時期とに分けてみると、男女とも、小学校の時期は「平成元年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は「昭和34年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「平成元年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和34年度生まれの者」よりも男子は1.3kg大きく、女子は1.0kg小さくなっています。

表5 「平成元年度生まれの者」と「昭和34年度生まれの者」の年間発育量

性別	年齢区分	身長(cm)				体重(kg)			
		平成元年度 生まれの者		昭和34年度 生まれの者		平成元年度 生まれの者		昭和34年度 生まれの者	
男 子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.8		5.8		2.6		2.6	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.0		5.2		2.9		2.3	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.6	35.7	5.4	34.0	3.0	22.1	3.0	20.0
	9歳(小4)～10歳(小5)	6.0		3.3		4.2		2.3	
	10歳(小5)～11歳(小6)	5.7		7.7		3.7		5.1	
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.6		6.6		5.7		4.7	
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.6		7.6		6.0		5.5	
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.3		6.6		4.8		5.8	
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.2	18.9	4.6	21.7	6.0	19.6	5.1	20.4
	15歳(高1)～16歳(高2)	2.1		1.9		2.5		1.9	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.7		1.0		0.3		2.1	
	11年間の総発育量	54.6		55.7		41.7		40.4	
	年間発育量の最も大きい年齢	11～12、12～13歳		10歳～11歳		12～13、14～15歳		13歳～14歳	
	女 子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.7		5.8		2.3		2.3
7歳(小2)～8歳(小3)		5.9		5.5		3.0		2.6	
8歳(小3)～9歳(小4)		6.1	36.7	5.6	36.2	3.6	23.2	2.9	22.1
9歳(小4)～10歳(小5)		6.9		6.0		4.2		2.8	
10歳(小5)～11歳(小6)		7.0		6.8		5.3		5.3	
11歳(小6)～12歳(中1)		5.1		6.5		4.8		6.2	
12歳(中1)～13歳(中2)		3.1		4.2		3.3		4.5	
13歳(中2)～14歳(中3)		1.8		1.9		2.7		2.9	
14歳(中3)～15歳(高1)		0.8	6.1	1.3	7.8	2.0	9.4	2.6	11.5
15歳(高1)～16歳(高2)		0.5		0.2		1.6		1.3	
16歳(高2)～17歳(高3)		0.1		0.2		0.2		0.2	
11年間の総発育量		42.8		44.0		32.6		33.6	
年間発育量の最も大きい年齢		10歳～11歳		10歳～11歳		10歳～11歳		11歳～12歳	

- (注) ・ 年間発育量は、たとえば平成元年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成9年度調査の7歳の体格から平成8年度調査の6歳の体格を引いたものです。
- ・ 11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
 - ・ 平成元年度生まれの者とは、平成元年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた者で、平成8年度調査の6歳、平成19年度調査の17歳です。
 - ・ 昭和34年度生まれの者とは、昭和34年4月2日から昭和35年4月1日までに生まれた者で、昭和41年度調査の6歳、昭和52年度調査の17歳です。

図6 平成元年度生まれの者と昭和34年度生まれの者の年間発育量(身長・男子)

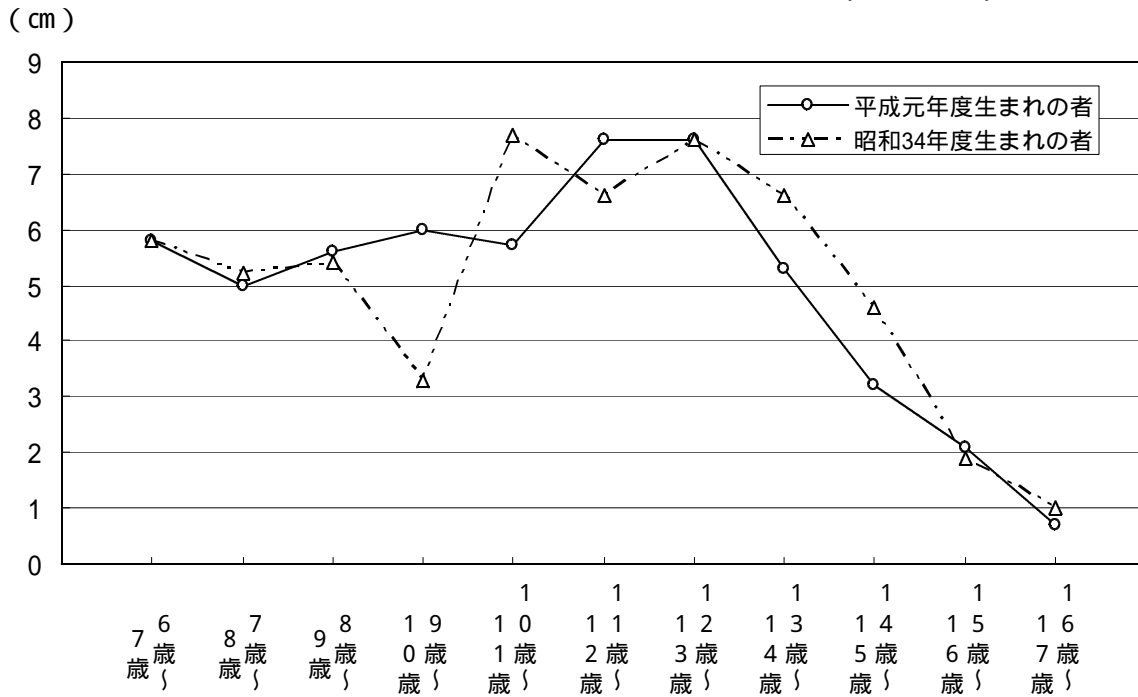


図7 平成元年度生まれの者と昭和34年度生まれの者の年間発育量(身長・女子)

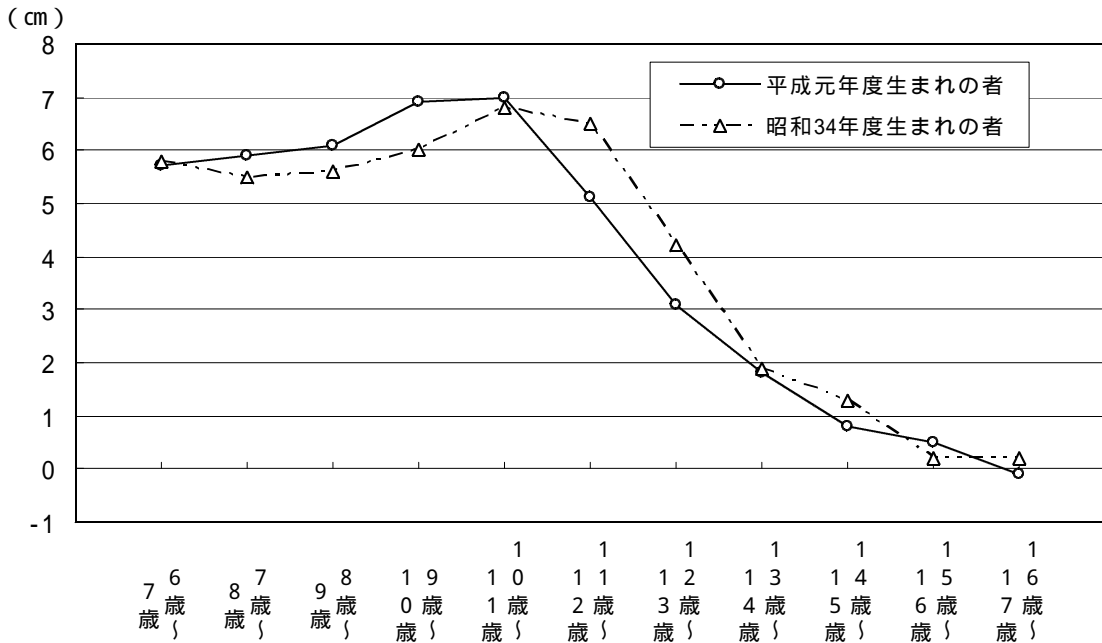


図8 平成元年度生まれの者と昭和34年度生まれの者の年間発育量(体重・男子)

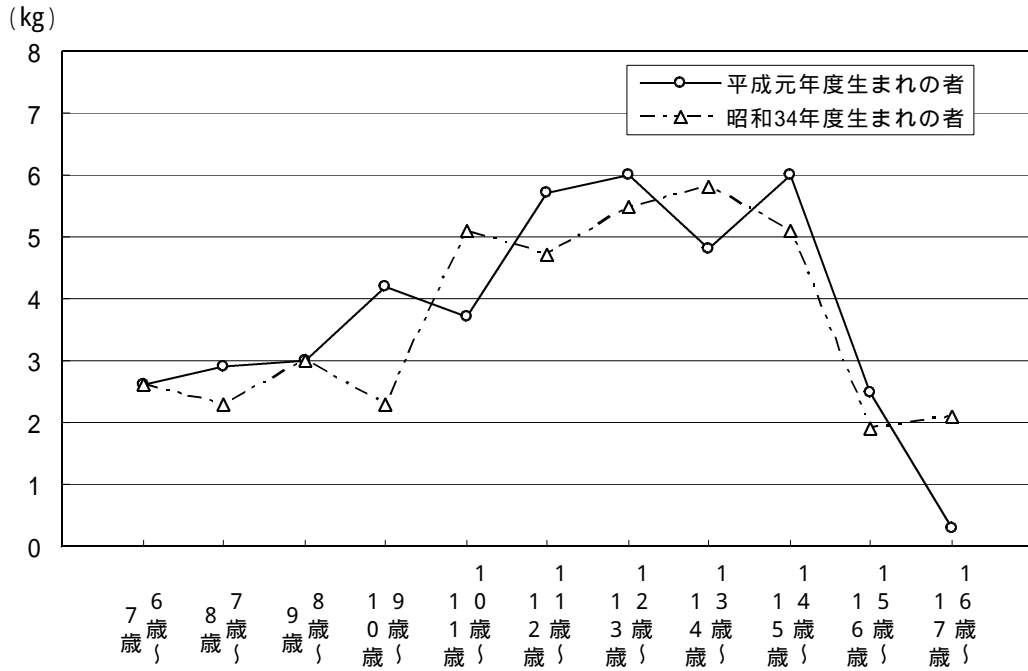


図9 平成元年度生まれの者と昭和34年度生まれの者の年間発育量(体重・女子)

